

- 自立支援協議会における主な機能の1つに「評価機能」があり、下記について評価を行うことが規定されている。【厚生労働省 障発0328第8号より】

- (1) 基幹相談支援センターの事業実績の検証
- (2) 市から障害者相談支援事業の委託を受ける事業者が作成する事業運営等の評価

- また、今回評価対象とした基幹相談支援センターは、国・県補助金の対象事業となっており、補助金の実施要綱である「地域生活支援事業実施要綱」において、自立支援協議会における事業内容評価が規定されている。

【地域生活支援事業実施要綱 別添1 障害者相談支援事業】

指定特定相談支援事業者又は指定一般相談支援事業者に委託する場合には、事業運営の中立性・公平性を確保する観点から、市町村が設置する自立支援協議会において、委託事業者の事業計画等について、事業評価を行う等の措置を講ずることが適当である。

【地域生活支援事業実施要綱 別添2 基幹相談支援センター】

市町村は、基幹相談支援センターを設置又は委託するに当たっては、協議会等において、設置方法や実施する事業内容の事業の実績の検証等を行うこと。

1. 自己評価

時期:5月

対象:基幹相談支援センターCoCo、沼南サポートセンター

内容:評価項目ごとに4段階の自己評価を行うと共に、詳細を記載する。

2. 書類審査

時期:5月中旬

内容:自己評価結果を各委員へ郵送。書類審査を行う。

評価者:地域自立支援協議会評価担当委員5名、障害福祉課(課長、課長補佐、支援班、事業庶務班)

3. 評価会(ヒアリング審査)

時期:5月下旬

内容:自己評価結果の正しさの検証や、書類審査を補完するために各事業所からヒアリング審査を行う。

評価者:書類審査と同様

場所:松戸市役所

4. 地域自立支援協議会(評価の確定)

日にち:8月4日(水)

内容:地域自立支援協議会評価担当委員、行政職員による評価結果をベースとして審議した上で最終的な評価を確定する。

1. 相談支援体制について (15分程度)

松戸市より委託事業所の設置経緯、役割、令和2年度の委託内容等説明

2. プレゼン、質疑応答 (5分プレゼン、10分質疑応答、5分記入) × 2事業所

令和2年度事業において、力を入れた取組みや意識した点についてプレゼン(各事業所5分程度)

審査にあたって、書類だけでは不足する点等の質疑応答(各事業所10分程度)

3. 評価

評価会翌日までに評価を提出(当日提出も可)

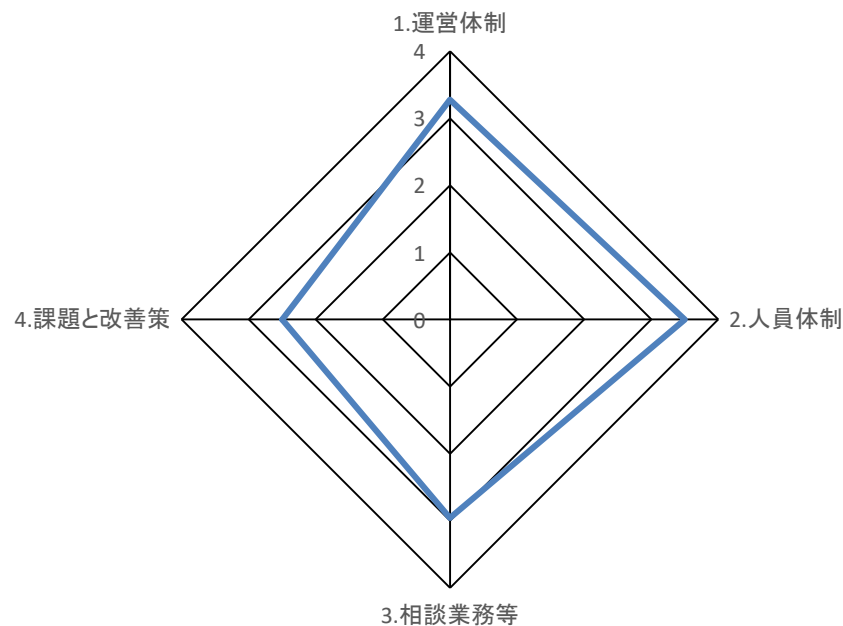
※できる限り評価した点、改善すべき点の記述をお願いいたします

評価担当者に偏りが出ないように、自立支援協議会の選出区分ごとに毎年度1名ずつ選出し、5～6名とする。

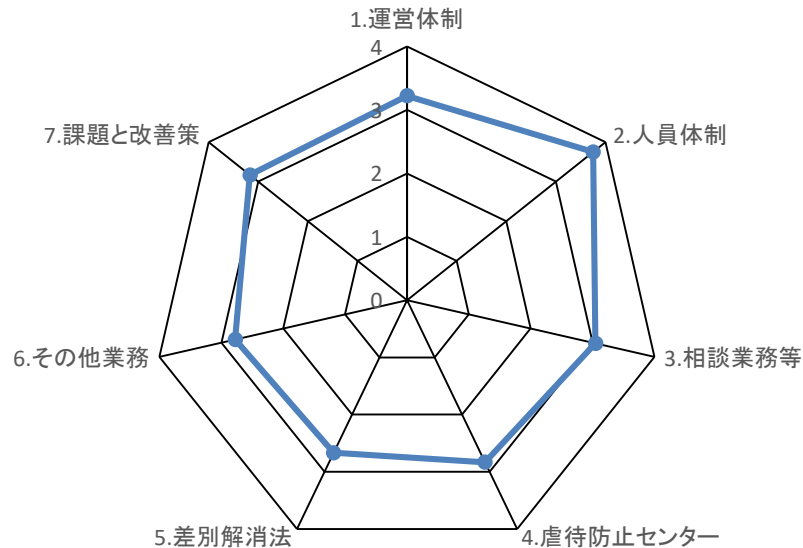
評価担当者

自立支援協議会委員

1. 【当事者】(特非)松戸市障害者団体連絡協議会 理事長 菊田 陽子 氏
2. 【障害福祉サービス事業所】(社福)彩会 理事長 平山 隆 氏
3. 【教育・雇用】県立松戸特別支援学校 教頭 小坂 真一 氏
4. 【関係機関】松戸市障害者地域包括ケアネットワーク 委員 浜辺 卓 氏
5. 【部会長】(社福)実のりの会 ビック・ハート松戸 センター長 古川 亮 氏
6. 【行政】課長、課長補佐、支援班、事業庶務班職員



- (1) ◎相談者が就労しているケースが多いとのことで、相談を受ける時刻を柔軟に対応できていることは、利用しやすさにもつながるので評価できる。
△本当に困っている方は、情報が入らない、様々な方法を工夫していく必要がありますね。
- (2) ◎経験が豊富、浅い職員がバランス良く配置されていて良いと思います。
- (3) △新たな社会資源の情報収集
- (4) ◎コロナ下の新たな相談、工夫して取り組んでいます。更なる追求を期待します。
△引きこもり、触法対応がむずかしく課題がたくさんですね。



- (1) ◎通常営業日以外に休日も対応している点、個人情報保護について適切に処理されている点
△情報がほしいが届かない方々への更なる周知方法の工夫をお願いしたい。
- (2) ◎恒常的な研修の機会を設けており、内容について詳細に記載されている点
- (3) ◎様々な相談がある中で、連携しながらのケースが多いはず。事例についても複数機関との連携となっており、コーディネート機能を十分に発揮していると思われる点
- (4) ◎虐待の通報件数の増加に伴い、対応件数が増えている点
- (5) ◎今年度は少なかった様子。連携はしっかりととれている様子。評価できます。
- (6) ◎セルフプランの方。時にはどうしてよいかわからなく、悩んでいる様子。きちんと支援する姿勢で取り組んでいます。
- (7) ◎マニュアルの修正作業が研修となっていることは、スタッフの記憶にも残りやすく、良い方法だと思いました。
△GHの数は増加しているが、ホームに合っていない入居者は拒否される傾向が強い。認可の段階で重度の方を受け入れる条件をつけても良いのでは。